



上浮穴高等学校 人権・同和教育の取組

愛媛県立上浮穴高等学校人権委員

浅木優志

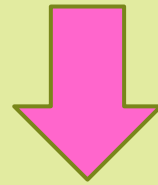
大野龍義

芦澤駿介

辻田愛翔

私たちの人権意識は高まっているのか？

- 校内の活動、校外での活動、調査など、
- 実施したり参加したりしているが、
- 見直しや意識の変化等について目を向けていなかった。



まず、人権委員で見直したり考えたり
してみよう。

校内の活動

- 1 人権・同和教育HR
- 2 人権デー
- 3 人権・同和教育に関する課題
- 4 人権・同和教育に関する講演会

人権・同和教育に関する意識調査

1 人権・同和教育ホームルーム活動（1年生）

よりよい人間関係を作ろう



自分の周りに目を向けようⅠ



自分の周りに目を向けようⅡ



人権・同和教育ホームルーム活動（2年生）

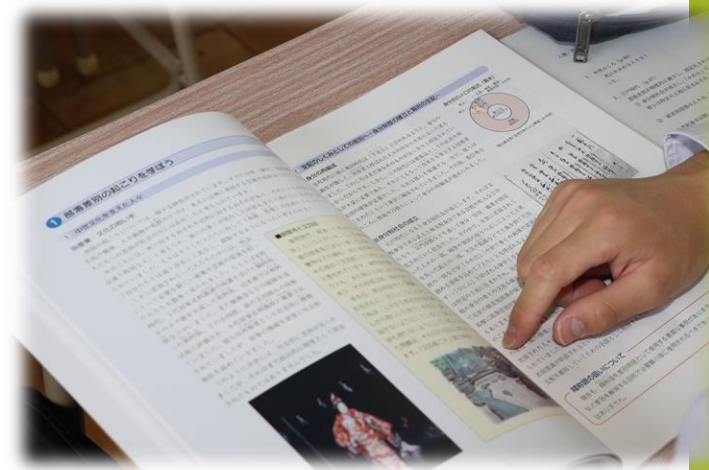
部落差別の起こりを学ぼう



解放令の布告・水平社運動の展開



戦後の解放運動と
私たちの生活



人権・同和教育ホームルーム活動（3年生）

就職差別の解消
確かな進路保障のために



結婚差別の解消
幸福な結婚のために



差別をなくす生き方



H R活動における課題

1 年

- 身の回りの差別について班活動で調べたりするが、差別はいけないということは分かっても、「なぜ差別をしてしまうのか」を考える時間が少ない。
- アサーティブな言い方を学んだが、普段の言葉遣いやSNSで文字に残る言葉を見ると、生かされていないように感じる。
- 小学校中学校で学んだことばかりだった。

H R活動における課題

2年

- 高校入学までの取組が学校や個人によって大きく違い、特に歴史学習や差別の起こりの所で理解に差が出る。「畏敬の念」などの概念がわからないことも影響している。
- 「同和問題」「部落差別」とはどのような差別か、十分には説明できない。

H R活動における課題

3 年

- 就職差別については、統一用紙なども見て身近に感じられる部分もあるが、結婚差別についてはピンとこない。
- 入学から卒業するまでの間に、どれくらい人権意識が高まったか見えにくい。
- 1・2年次の学習をよく覚えていない。

HR活動における課題

全体

- 学習したことが生かせていない。
- 卒業するまでの9回のHRでは時間が足りない。
- 他の探究活動の活発化やバスの時間の制限などで、放課等に準備に時間がかかるのが難しい。
- 入学から卒業するまでの間に、どれくらい人権意識が高まったか見えにくい。

H R活動における課題への改善策

- 人権・同和教育H Rの回数を増やせなくても、事前・事後学習を充実させる
- 3年の2月にも意識調査をするなど、過去の学習を振り返る。
- 人権委員がもっとクラスで活動する。まず僕たちが勉強する、準備・先生と担当班等との連携。

2 人権デー（令和6年度）

回数	学習内容
第1回	生徒人権作文 これからの幸せのために
第2回	ヤングケアラーについて
第3回	共生社会の実現のために 「障害者差別解消法」
第4回	「ハンセン病」の歴史と差別 フィールドワーク参加
第5回	生徒人権作文 「わたしとみんなのLGBTQ」
第6回	立ち位置が代われば風景が変わる 「差別はたいてい悪意のない人がする」

人権デーにおける課題

- まだ頭が起きていない時に、短い時間で行われるので、よく考えずに感想を書いてしまう。
- わからないことについて、その場で調べたり質問したりできない。
- 興味が持てないと、真剣に聞くことができない。
- 感想の共有ができない。感想を言い合う時間が欲しい。
- 保護者からの感想が少ない。（過去）、HPを見てもらえているかわからない。否定的な意見に対応しにくい。

人権デーにおける課題への改善策

- 読む時間を少なくして、感想に時間をかける。
(内容・量のスリム化)
- 感想をまとめてみんなに配るようにする。
- ネット上で保護者が感想を提出できる専用の提出BOXなどを作る。
- 人権デーで、どのような内容を取り上げてほしいかリサーチする。

3 人権・同和教育に関する夏休み課題

人権標語（展示中）

人権ポスター（展示中）

人権作文

4 人権・同和教育講演会（令和6年度）



校外の活動

- 1 みなら特別支援学校高等部
 陶芸班との交流学習
- 2 合同フィールドワーク参加
- 3 久万町人権啓発フェスティバル参加

1 みなら特別支援学校との交流



ろくろを
使いました



みなら特別支援学校との交流

本校文化祭で
出品しました



交流学習における課題

- 楽しいことをしに行っているだけで終わっている感じがする。交流で、ハンデについてもよく知らないままで、人権意識の高揚につながっていると言えない。
- 日程や時間の制限があり、事前や事後の生徒同士の交流は難しい。

交流学習における課題への改善策

- 先に、自己紹介カードなどを先方に送り、話題づくりに生かす。先方にもできる範囲で書いてもらう。
 - 学校紹介ボードなどを作って持っていく。
 - 陶芸班のことについてだけでなく、みなら特別支援学校について事前学習をしてから行く。
- ※ プライバシーの保護などに注意が必要。
先生に相談・お願いしながら慎重にする

2 人権フィールドワーク

国立療養所 長島愛生園訪問

令和6年8月1日（木）
松山東、松山南
松山北、松山中央
松山工業、上浮穴
伊予農業、松山西
（8校参加）



校外の活動

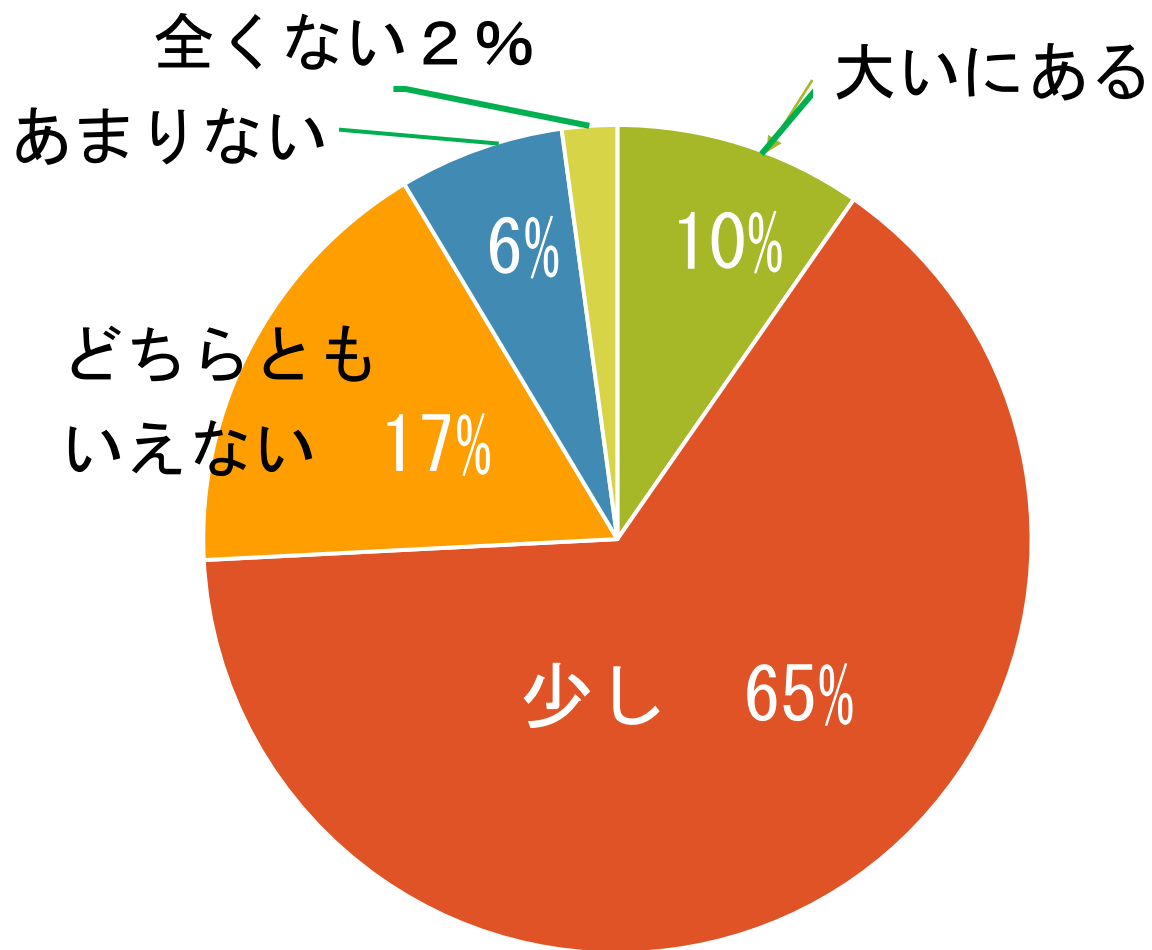
- 1 みなら特別支援学校高等部
 陶芸班との交流学習
- 2 合同フィールドワーク参加
- 3 久万町人権啓発フェスティバル参加

校内の活動

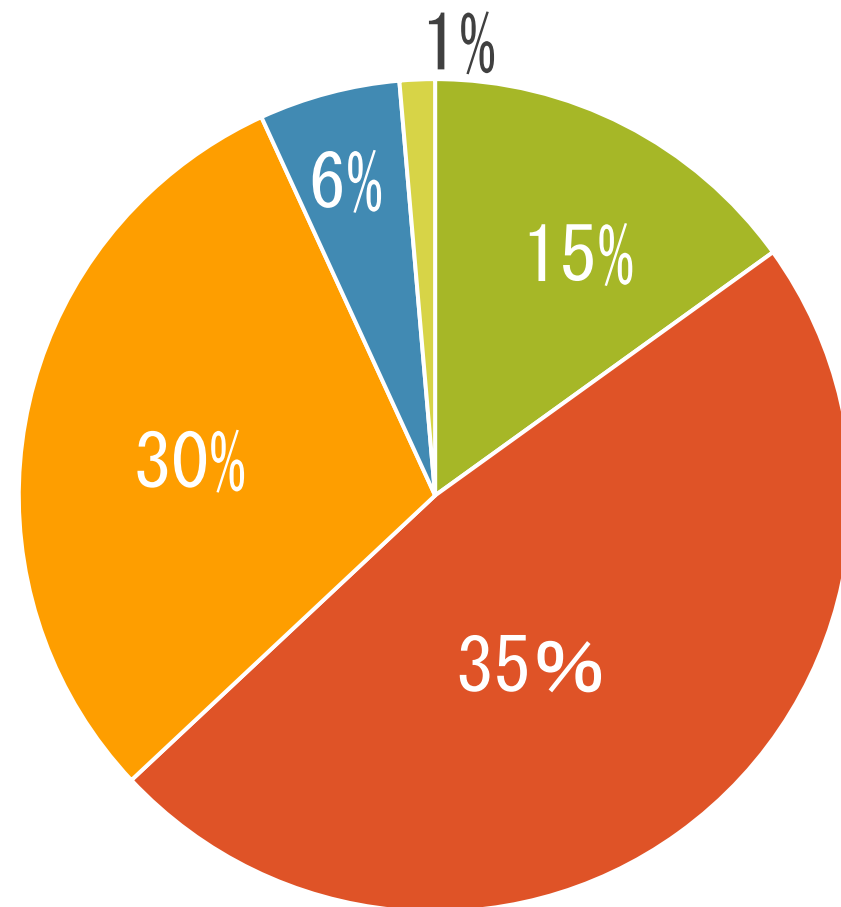
- 1 人権・同和教育HR
 - 2 人権デー
 - 3 人権・同和教育に関する課題
 - 4 人権・同和教育に関する講演会
- 人権・同和教育に関する意識調査

あなたは人権にどの程度関心がありますか

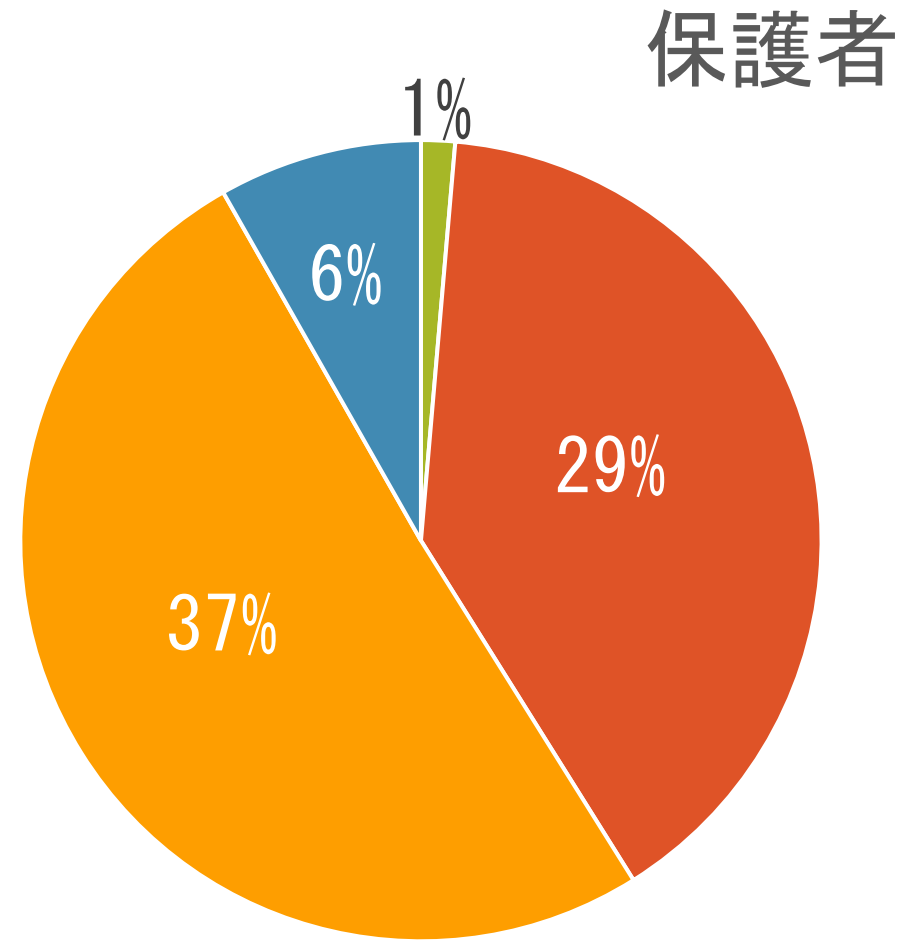
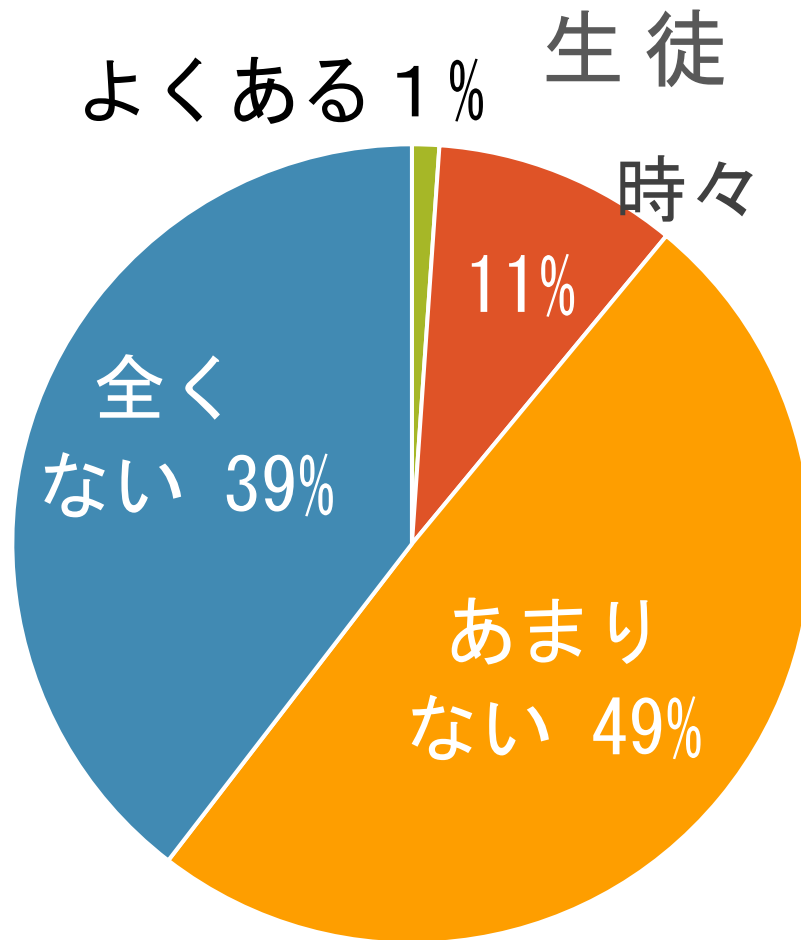
生徒



保護者

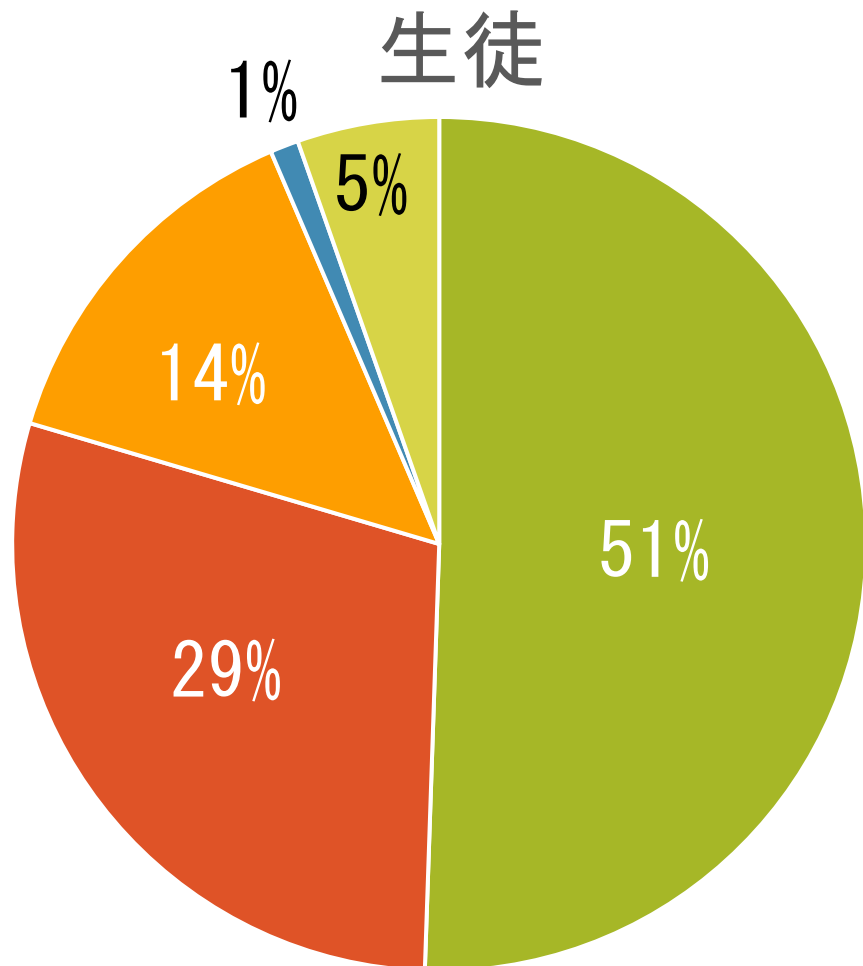


家庭で、同和問題をはじめとする様々な人権問題について話し合ったことがありますか



もし友人や家族から同和問題について差別的な話がでたとき、あなたはどうしますか。

- 自分で差別の間違いを指摘する
- 説明する自信がないので、そのままにしておく。
- 自分には関係のないことだから、そのままにしておく。
- 友人や家族の意見に合わせてしまう。



もし友人や家族から同和問題について差別的な話がでたとき、あなたはどうしますか。

- 相手による。言えそうな相手なら言う。
- 自分の考えを言うが、相手の考えも否定しない。
- その差別を知らないから何も言えない。
- 遠回しに駄目だよと言う、それはやめところ、みたいに軽く注意する。
- 注意だけする。
- どうせ聞いてくれないと思ってしまう。説明してだめなら間違っている人と縁を切る。

学校で行われている人権同和教育について
どう思うか

生徒・保護者ともに95%以上の人が、
「必要である、ある程度必要である。」
と回答

私たち人権委員にできること

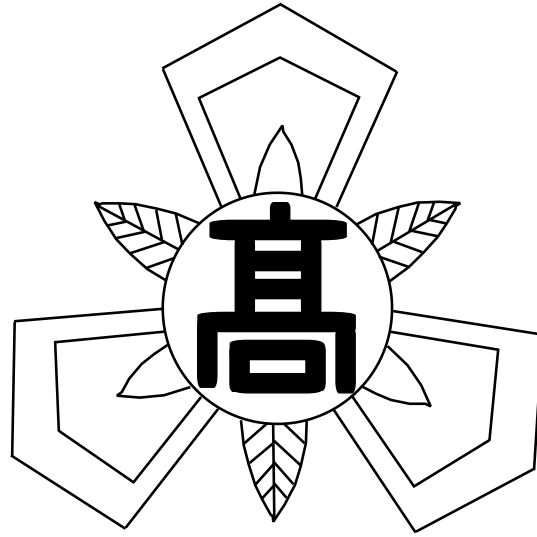
- ・ 人権デーの内容を、自分たちで作成する。
- ・ HRは、担任の先生や担当班のサポートをしたり、HRの内容に関連したものを人権デーで取り扱ったりする。
- ・ 校外活動については、成果の発表や報告の場を設けるようにする。
- ・ 意識調査について、記録・年度比較や傾向チェックなどをする。

年間目標

「積極的に人権問題について学び発信しよう」

「人権意識を高めて校内外でお手本になろう」

達成できていない・・・



ご清聴ありがとうございました